



次世代型路面電車(LRT)とは

次世代型路面電車 (LRT※) とは

※Light Rail Transit【ライト・レール・トランジット】

・LRTとは、各種交通との連携や低床式車両 (LRV)の導入により停留所での乗降がしやすくなるとともに、定時性、安全性にも優れた特徴を有する次世代交通システム。



従来の路面電車 (広島電鉄)



LRV グリーンムーバーマックス (広島電鉄)
【提供: 広島電鉄 (株)】

国内外の導入事例

①広島市 (広島電鉄(株))

開業:H11年※
特徴:R7年8月にJR広島駅構内に直結するルートが開業
※低床式車両(LRV)の導入時期



【提供: 広島電鉄 (株)】

②富山市 (富山地方鉄道(株))

開業:H18年4月※
特徴:・JR線を路面電車化
・上下分離制度を初めて採用した事業
※富山港線の開業時期



【提供: 富山市観光協会】

③宇都宮市・芳賀町 (宇都宮ライトレール(株))

開業:R5年8月
特徴:・全線新設のLRT
・西側区間整備に向け検討中



【提供: (一社)宇都宮観光コンベンション協会】

④ストラスブール(フランス)

開業:1994年
特徴:・廃止となった路面電車がLRTとして復活
・パークアンドライドや都心部のトランジットモール化など、まちづくりも併せて進められ、環境を重視したまちづくりのモデルケースの一つとされている。



【出典: 国土交通省HP】

LRTの特徴

【バリアフリーに優れ、 全ての人にやさしい】

・島状の停留場により、車両との段差がなく、高齢者や車いすの方にも優しく安全かつスムーズに乗降が可能。



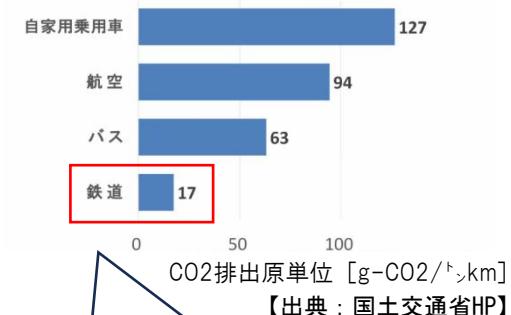
【出典: 国土交通省HP】

車いす利用者がLRTに乗車する様子 (富山市)

【空気を汚さない等、 環境にやさしい】

・他の交通と比べCO2排出量が少なく、クリーンで環境にやさしい。
・騒音や振動が少なく周辺環境にもやさしい。

■輸送量当たりのCO2排出量(旅客)(2023年度)



鉄道(電車)は自家用乗用車やバスに比べてはるかに小さい

【輸送力が高く、 定時性に優れる】

・一度に多くの人を安全に運ぶことができる輸送効率の高い乗り物。

■ライトライン(宇都宮ライトレール(株))
全長:29.5m 3両編成
定員:159人

■ポートラム(富山地方鉄道(株))
全長:18.4m 2両編成
定員:80人

・かつての路面電車は、軌道内に車が進入可能で、定時性と安全性の確保が困難。

⇒専用レールを走行するため、他の交通の影響を受けず時間に正確で安定運行が可能。

【都市の魅力高める まちのシンボル】

・快適な交通手段としてだけでなく、都市の魅力を高める「まちのシンボル」。
・パーク&ライドやまちづくりとの連携により歩行者中心の回遊性の高いまちを創出。



宇都宮のまちとライトライン

【提供: (一社)宇都宮観光コンベンション協会】